

あんじょう 市議会だより

第44号

令和2年5月1日(2020年)
3月定例会

主な内容

- 2頁 令和2年度予算を可決
- 8頁 議案などの審議結果
- 10頁 新型コロナウイルスへの議会の対応
- 11頁 高校生×市議会コラボ 進化!

表紙作品は安城農林高等学校の生徒さんから提供していただきました。
詳細は裏表紙をご覧ください。

令和2年度予算

注目事業を ピックアップ

令和2年度一般会計予算は昨年度より約48億円多い721億円と、平成28年度に次ぐ過去2番目の規模になります。皆さんからの大切な税金が適正に執行されるのか慎重に審査しました。



児童クラブ事業

高まる需要に対応するため児童クラブの新設、特別教室の改修及び児童クラブ支援員の確保に努めます。

7億4714万円余



バイオスマーク
(一社)日本有機
資源協会発行



ごみ指定袋作成事業

ごみ袋の原料の一部にバイオマスポリエチレン(植物由来)を使用し、CO2排出量の削減に努めます。

9366万円余



防災ラジオ配布事業

購入から5年以上経過した世帯・事業所には2台目の購入を可能にします。

836万円



産婦歯科健康診査ケア事業

産後の女性の歯の健康づくりに取り組みます。

500万円

前に指摘した事は改善されている？

この事業の内容は？

3月定例会

必要な金額が配分されている？

議会が市民目線でチェック！

3月4日～18日の15日間で3月定例会が開催されました。慎重な審議・委員会審査の上、43案件を可決しました。

福祉

障害者の働き方にテレワークを活用

Q 令和3年度からの新たな「障害者福祉計画」が策定される。現計画での重点施策の1つに、「就労支援の充実」があるが、これに関し新たな取り組みはあるか。

A ハローワーク刈谷などの関係機関と連携し、ICTを利用して自宅などで働くことのできる「テレワーク」を活用した一般就労に関する取り組みを推進する。障害特性によって、働きたくても自宅から出られない、人と直接関わることが苦手という事情でも、「テレワーク」なら住み慣れた自宅での就労となるため、一般的な就労と比べ障害のある方にも選択しやすくなると期待する。

福祉

市内に介護施設はいくつ整備されるのか？

Q グループホームなどの介護保険施設整備は、介護保険事業計画である「あんジョイプラン」で計画されている。現計画である「あんジョイプラン8」の施設整備計画の進捗状況は。

A 「あんジョイプラン8」では、①定員100人の特別養護老人ホーム1か所、②定員29人の地域密着型特別養護老人ホーム1か所、③認知症高齢者グループホーム2か所、④地域密着型特定施設1か所を計画している。①は平成31年度、公募による選定事業者から辞退があったため、今年の5月締切で再度公募する。②は二度の公募に対し応募がなく、次期計画で整備計画を検討する。③は今年3月に1か所開設し、もう1か所は令和2年度末に開設予定。④は令和2年度中に開設を予定している。

環境

自立・分散型エネルギーシステムとは？

Q 自立・分散型地域エネルギーシステム構築実現可能性調査委託料における「自立・分散型地域エネルギーシステム」とは何を目的としたどのようなシステムか。

A 太陽光発電設備、蓄電池、発電や蓄電機能を持つ自動車等を組み合わせ、使用する電気を自らの施設で作り利用する仕組みを構築するとともに、市が所有するごみ焼却などで発電した温室効果ガス排出量が少ない電気を近くの施設間などで連携・使用する仕組みを付加したシステムである。これにより、再生エネルギーが無駄なく使えるようになり、平時の温室効果ガス排出抑制に加え、災害時など外部からの電気の供給が途絶えた時でも施設で電気が使用できるなど、公共施設の機能維持を図ることを目的としたシステムであり、令和2年度は、この実現可能性について調査を行う。



防災

地域が主体の「地区防災計画」を策定

Q 令和2年度に策定マニュアルを作成し、令和3年度にモデル地区で地区防災計画を策定されるが、モデル地区はどのように選定されるのか。また、自主防災組織が作成した地域防災マップは、地域防災計画策定にどのように活用されるのか。

A モデル地区の選定については、矢作川沿川地域において、洪水ハザードマップで浸水が予想されるリスクの高い地域から優先的にモデル地区として選定し、すべての自主防災組織で計画を策定する。
また、地区防災計画は、地域のリスク特性、災害時の避難方法及び日頃からの備えなどを記載しており、地域防災マップは身近な災害を住民自らが考えて作成、活用されており、共通部分が多いことから、内容を計画に盛り込んでいく。

図書館

レファレンスサービスの課題は？

Q 図書館運営基本計画には「図書館サービスの根幹は、選書とレファレンスサービスである」とされているが、令和2年度の図書購入のポイントと、本市のレファレンスサービスの現状と課題は。



A 「市民の調査研究及び文化、教養、暮らし、レクリエーションに必要な資料を多様なレベルで幅広く収集する。」「収集にあたっては、現在の利用者の要求だけでなく、潜在的な要求、将来想定される要求も考慮し収集する。」が基本方針であり、毎週司書が選書会議を開催し、予算の範囲内で時期を逸することなく、選定している。
現状については、資料相談や案内を含め、1日平均50件以上、年間1万5000件以上のレファレンスを受けているが、まだ、認知度が低い。リーフレットや図書情報館ホームページでレファレンスサービスの周知を図っている。累積データ登録数は、政令市以外の市立図書館では、函館市、豊中市に次いで第3位。今後も職員のスキルを磨き、サービス向上に努めていく。

健康

高度医療機器等整備事業補助金が増額

Q この補助金は、安城更生病院と八千代病院が新たに設置する高度医療機器の導入費用に対する補助金として安城更生病院6500万円、八千代病院3500万円で、併せて1億円を補助することとなっていたが、令和2年度は八千代病院が8500万円と例年より5000万円多く補助することとなった理由は。

A 安城更生病院及び八千代病院については、高度医療機器導入計画に基づき、計画的に補助金を毎年交付しているが、八千代病院が現在使用している救急医療機器の更新にあたり、地域の救急医療体制の維持を目的に、緊急的に前倒しして補助金を交付することとし、5000万円を増額する。これにより、救急医療機器の安定稼働を始め、性能アップによる検査時間の短縮、増加する救急患者への迅速な対応が可能となる。

暮らし

キャッシュレス決済が市役所で始まる

Q 令和2年7月から、市民課窓口において、キャッシュレス決済を導入するが、どのような検証をするのか。また、毎年のランニングコストや支払い時間短縮などの効果は。

A 市民課の証明窓口は利用者数も多く、年齢層も幅広い窓口であるため、キャッシュレス決済を利用される人数や利用額、決済の種類などの実績データを収集し効果を検証する。ランニングコストは通信回線使用料年6万5000円余に加え、利用金額に応じた決済手数料4%程度を想定している。支払い時間は、現状の平均1件20秒ほどの処理時間が、半分程度の時間で済むのではと期待している。

暮らし

広報あんじょうの配布事業者を変更

Q 広報あんじょうの印刷製本費の増額の理由は。また、新たに予算計上する、広報あんじょう配布委託料及びシルバー委託料の業務内容は。

A 広報紙面を見やすくするためのフルカラー刷りへの変更及び、世帯数増加に対応するために印刷部数を増やしたための増額。また、行政連絡員制度が廃止されることに伴い、令和2年度から広報の配布業務を民間事業者及びシルバー人材センターに委託し、市内全域へ全戸配布をする。

暮らし

多世代住宅支援事業の現状は？

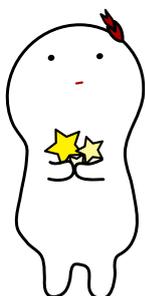
Q 多世代住宅支援事業について令和2年3月までの事前相談と補助金申請の状況はどうか。

A 3月11日時点の事前相談は81件で、内訳は、居住別では、同居49件、隣居21件、近居11件、工事種別では、新築等58件、リフォーム16件、取得7件、世代別では2世代23件、3世代58件などである。補助金申請は現在までに17件で、リフォームが9件。新築や増築は、令和2年度に多く申請されると考えている。

観光

七夕まつりの補助金を増額

Q 安城七夕まつり支援事業補助金6900万円は、昨年度より900万円増えているが、どのような理由か。また、日通倉庫の代替倉庫は考えているのか。



A 市はJR安城駅前日通倉庫の用地取得のために話し合いを進めており、今後の話し合いによっては、2年度中に倉庫が取り壊され、倉庫内部の装飾品などの撤去費用が必要となるため、増額した。話し合いがまとまった場合、日通倉庫の代替倉庫は、七夕まつり開催区域に近い市有地の中で選定を進めている。



デンパーク

道の駅が新しくなるのか？

Q デンパークにおける道の駅運営改修等検討業務はどのような検討を行うのか。現状の建物を活用するのか、新たな場所を検討するのか。また、いつ頃の改修工事を目指しているか。

A 道の駅は、開設し約20年が経過し、リニューアルが必要と判断している。黒字化のためのノウハウなど専門知識が必要で、国が新たに防災道の駅制度を発表したことなどを踏まえ、委託することとし、デンパークとの相乗効果が期待できる施設や場所について、今後検討していく。スケジュールについては、市制施行70周年、デンパーク開園25周年にあたる令和4年度を見据えて、委託業務の成果として示していく。

安全

道路を補修して速度抑制を促してはどうか？

Q 道路上にかまぼこ状の突起を作る「ハンプ」や、立体的に見える絵を描いて心理的に抑制する「イメージハンプ」について、市内にはどの程度導入され、費用や効果はどれくらいか。住宅地では、かなりのスピードで通過する車両に対して、これらを積極的に取り入れる考えはあるか。

A 「ハンプ」は、市内で過去に実施した例はない。「イメージハンプ」は、事故が多発する交差点で実施しており、2箇所で41万円だった。効果は、視覚的に注意喚起を促し、速度抑制が期待できると考えている。生活道路における通過車両の速度抑制を含めた交通安全対策については、ハンプという方法も含め、どのような対策が良いのか、地元町内会や安城警察とも協議し、検討していく。



イメージハンプ

まちづくり

三河安城駅周辺これからどうなる？

Q 三河安城駅周辺パワーアップ再生プロジェクト推進事業について、これは三河安城駅周辺で、意欲がある人々を集め、将来のビジョンを共有しながら、まちを本格的につかう取り組みを進めていくものと聞いているが、この取り組みの先にある公共空間の整備方策などは。また、この取り組みを進めていくにあたり、ポイントは何か。

A この取り組みは、これまでのまちづくりの進め方と異なり、従来のハード整備が先行するものではなく、人の活動から始まるまちづくりである。そのため、現時点で、将来の整備方針はないが、まちをつかい続けながら、必要な機能などを足していくことを想定し、その先に公共施設の整備方針を定め、再整備を進めていくことになると考えている。また、人々が共感を得られ、気軽に語り合える「ミーティングの開催」、その共感を実際に試してみる「社会実験」を軸に進めて行く。これは人、まち、活動の相性を探りながら進めていくため、簡単に成果が得るものではないと考えている。よって、この取り組みは粘り強く、ときには振り返りながら、時間をかけて進めて行くことがポイントとなる。



行政改革

民間の力を行政サービスに反映

Q 今回の組織改編で「企画政策課公民連携係」が新設された。指定管理者制度などの事務を所管すると聞いているが、その進め方をどのように考えているか。

A 総合計画の後期計画の重点戦略を踏まえ、民間事業者等の資金、知見、ノウハウ等を積極的に活用することにより、行政サービスの向上と業務の効率化を図る。また、指定管理者制度、PFI、広告事業などの事務の他、総合調整を行うとともに、民間提案の統一窓口を設置し、民間の力を効果的に行政サービスに反映していく。

行政改革

市のテレワーク導入はどのようなものか？

Q テレワークは、世界中で大流行している新型コロナウイルスの感染防止として、すでに多くの企業が導入しているが、本市における実証実験はどのようなものか。

A 実証実験では、庁舎、市施設以外の庁外からパソコンにより市役所内部のネットワークに接続できるようにする。接続できるパソコンは、職員に貸与しているパソコン、または、貸出用のパソコンのみとし、専用USBの取り付けと静脈認証を行うことにより市役所内部のネットワークに接続し、テレワークが利用できるようにする。



テレワーク



行政

市職員の人事評価の方法は？

Q 人事評価をして昇格をさせる上で、年功序列的要素と能力主義的要素をどのようなバランスで考えているのか。その割合は。

A 昇格の要件は規則や内規で定められており、経験年数や人事評価の結果をもとに、双方の要素を鑑みて決定するが、要素の割合についての規定はとくにない。

税金

安城市のふるさと納税のPR方法

Q 「ふるさと納税」を実施するにあたって、従来にはないPRや戦略的な取り組みで、具体的に検討しているものがあるか。

A 複数のふるさと納税ポータルサイトの活用を検討している。民間事業者と連携し、シティプロモーションと組み合わせたPR方法の検討や市の関係部署との効果的な連携についても取り組んでいきたい。

▶ 3月定例会 議案などの審議結果

■安城創生会 18人 ■公明党 3人 ■みらいの風 3人 ■志 2人 ■新社会 1人 ■共産党 1人

※ 議案名と会派名は、一部省略して記載しています。

- 公明党→公明党安城市議団
- 共産党→日本共産党安城市議員団

個人別審議
結果はこちら



会派別賛否(○賛成、×反対)

	3月定例会に提出された案件	結果	会派別賛否(○賛成、×反対)					
			安城創生会	公明党	みらいの風	志	新社会	共産党
市長提出議案	第1号 事務分掌条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○
	第2号 市職員定数条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○
	第3号 一般職の任期付職員の採用に関する条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○
	第4号 市職員のサービスの宣誓に関する条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○
	第5号 市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○
	第6号 市職員の休日及び休暇に関する条例の特例を定める条例及び昭和天皇の崩御に伴う職員の懲戒免除及び職員の賠償責任に基づく債務の免除に関する条例を廃止する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○
	第7号 放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○
	第8号 国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	×	×
	第9号 印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○
	第10号 教育センター設置条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○
	第11号 手数料条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	×	×
	第12号 西三河都市計画事業安城桜井駅周辺特定土地区画整理事業施行規程及び西三河都市計画事業安城南明治第一土地区画整理事業施行規程の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○
	第13号 市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○
	第14号 コミュニティ住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○
	第15号 水道事業の設置等に関する条例及び下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○
	第16号 令和元年度一般会計補正予算(第4号)	原案可決	○	○	○	○	×	○
	第17号 令和元年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決	○	○	○	○	○	○
	第18号 令和元年度有料駐車場事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○

3月定例会に提出された案件		結果	安城 創生会	公明 党	みらい の風	志	新 社会	共 産 党
市長 提出 議案	第19号 令和元年度安城桜井駅周辺特定土地区画整理事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決	○	○	○	○	○	○
	第20号 令和元年度介護保険事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決	○	○	○	○	○	○
	第21号 令和元年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○
	第22号 令和元年度水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○
	第23号 令和元年度下水道事業会計補正予算(第2号)	原案可決	○	○	○	○	○	○
	第24号 令和2年度一般会計予算	原案可決	○	○	○	○	×	×
	第25号 令和2年度国民健康保険事業特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	×	×
	第26号 令和2年度土地取得特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○
	第27号 令和2年度有料駐車場事業特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○
	第28号 令和2年度安城桜井駅周辺特定土地区画整理事業特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○
	第29号 令和2年度介護保険事業特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	×	×
	第30号 令和2年度後期高齢者医療特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	×	×
	第31号 令和2年度水道事業会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○
	第32号 令和2年度下水道事業会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○
	第33号 第8次総合計画の変更	原案可決	○	○	○	○	×	×
	第34号 工事請負契約の締結(北部学校給食共同調理場移転建設主体工事)	原案可決	○	○	○	○	○	○
	第35号 工事請負契約の締結(北部学校給食共同調理場移転建設管工事)	原案可決	○	○	○	○	○	○
	第36号 工事請負契約の締結(北部学校給食共同調理場移転建設電気工事)	原案可決	○	○	○	○	○	○
	第37号 工事請負契約の締結(北部学校給食共同調理場移転建設空調工事)	原案可決	○	○	○	○	○	○
	第38号 財産の取得(北部学校給食共同調理場の移転建設に伴う厨房設備)	原案可決	○	○	○	○	○	○
	第39号 市道路線の廃止	原案可決	○	○	○	○	○	○
第40号 市道路線の認定	原案可決	○	○	○	○	○	○	
第41号 令和元年度一般会計補正予算(第5号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	
議員 提出 議案	第1号 新型コロナウイルス感染症対策の強化等を求める意見書	原案可決	○	○	○	○	○	○
	第2号 議会委員会条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○

新型コロナウイルスへの議会の対応

①3月定例会の会期日程を一部変更

新型コロナウイルスの感染拡大防止策が進むなか、小中学校の休校や各種イベント等の中止などの対応で市職員の事務作業が急増したことから、議会対応の負担を減らし、市職員が感染防止対策に専念できるよう代表質問・一般質問を中止しました。



感染防止対策のため全員マスク着用で審議

また、感染拡大により令和2年度当初予算案などの議決に影響が出るのを防ぐため、3月24日に予定していた閉会を18日に前倒ししました。

②対策会議の設置

3月5日、議会内に対策会議を設置しました。議長を中心に代表議員で構成し、情報把握、市への要請など機動的に取り組んでいます。

③新型コロナウイルス感染症対策の強化等を求める意見書を国へ提出

3月4日の開会日に、議長を除く全議員の署名による意見書提出の議案が可決され、即日、国へ意見書を送付しました。

内容は高齢者・障害者施設等の施設内感染対策など感染拡大防止策の強化・徹底、早急な治療薬の開発や治療法の確立、短中長期的に応じた経済対策、臨時休校等に伴う関係者の休職や経済的負担への支援など10項目です。

■ 議長諮問事項に対する答申

2月26日に、議会改革検討委員会が議長に答申しました。

● 諮問第1号「一般質問の時間配分について」

○ 答申内容

検討した結果、現状の「質問答弁を含め60分を超えない」とする。

※諮問第2号及び3号の答申は前号に掲載しています。



野場委員長（右）が二村議長へ答申書を提出

委員会部会などの主な活動状況

1月	
28日	議会運営委員会
	議会改革検討委員会
2月	
26日	議会運営委員会
	議会改革検討委員会
27日	福祉環境部会
	産業建設部会

3月	
2日	議会運営委員会
3日	議会運営委員会
12日	産業建設常任委員会
13日	市民文教常任委員会
16日	福祉環境常任委員会
17日	総務企画常任委員会
18日	議会運営委員会

高校生 × 市議会

進化します！

昨年の3月定例会号から始まった、高校生と市議会とのコラボ企画。若い世代をはじめ、多くの市民に市議会の活動に興味や関心をもってもらい、身近な議会になっていきたい！そのような思いから、まずは議会だよりの表紙を高校生の作品にしていこうことから始めました。

そして、まだ安城特別支援学校と安城生活福祉高等専修学校の2校の作品を控えています。早くも2巡目もコラボしていくことが決定しました。今後の表紙にも注目してご覧ください☆

それから今年はさらに進んだ「高校生との意見交換会」を安城市議会ですべて初めて開催します！若い感性をもつ高校生からどんな意見が出されるのか、議員一同楽しみにしています♪♪日程など詳細は現在調整中で、決まり次第議会ウェブサイトや議会だよりでお知らせします。

過去のインタビューの様子



高校生 × 市議会 ～ 安城農林高校 ～

今号の表紙は安城農林高校の生徒さんの作品です。学校が制作を推薦したのは、2年連続で文化祭のポスターを描いた絵の得意な3年生の土橋美柚さん。カラフルで楽しい感じが伝わってくる作品のテーマなどについて、卒業を控えた土橋さんにお話を伺いました。(2月5日訪問)

学校の明るくて元気で楽しい感じを出したいと思って描きました。全学科の生産物等を表現していて、私は食品科学科なのですが、ジャムを描いて表しました。あと、トラクターは絶対に入りたいなと思って描きました。



石川委員長

土橋さん

法福副委員長

高校生活は楽しかったですか？

トラクターは乗りましたか。

はい。いろいろな経験ができて充実していました。

はい。他にシヨベルカーにも。

5月臨時会・6月定例会の開催予定

- 5月11日(月) 臨時会
- 6月 4日(木) 定例会開会
- 8日(月) 一般質問
- 9日(火) 一般質問
- 10日(水) 一般質問予備日
- 11日(木) 議案質疑
- 15日(月) 産業建設常任委員会
- 16日(火) 市民文教常任委員会
- 17日(水) 健康福祉常任委員会※2
- 18日(木) 総務企画常任委員会
- 24日(水) 定例会閉会

※2 4月1日に福祉環境常任委員会から変更しました。

- ・開始時刻はいずれも午前10時からです。
- ・請願、陳情の提出締切りは5月26日(火)です。

KATCH放映(録画)

- 12日(金)午後6時
- 16日(火)午後6時
- 29日(月)午後6時※1

※1 会議を開催した場合のみ放映

地上デジタル11チャンネルで録画放映されます。

市議会だよりが新しくなりました!!

広報のリニューアルとともに、市議会だよりもフルカラー・横書きへと大きくリニューアルしました。

今後も分かりやすく読みやすく、親しみやすい市議会だよりになるよう、編集委員一同頑張っております。

ぜひ、ご感想やご意見などお寄せください。